

行田市まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】H29.8 一部改訂

総合戦略（平成 27 年度～31 年度の5か年）

人口ビジョン

中長期展望(2060 年を視野)

行田市の人口推移

■人口減少・少子高齢化の進行

- ・総人口は、2000 年（平成 12 年）をピークに減少
- ・年少人口は、2000 年（平成 12 年）に老年人口が年少人口を上回った後は、その差は拡大傾向にあり、少子高齢化が進行

■自然動態

- ・2003 年（平成 15 年）に死亡が出生を上回り、以後、自然減が継続
- ・2014 年（平成 26 年）の合計特殊出生率は 1.16 で全国平均、県平均を下回る

■社会動態

- ・1995 年（平成 7 年）に転出が転入を上回り、以後、社会減が継続
- ・特に 20 歳～34 歳の若年層の転出超過が大きい

人口の将来展望

国立社会保障・人口問題研究所準拠推計
 2010 年 (平成 22 年) 85,785 人 → 2060 年 (平成 72 年) 42,272 人

目指すべき将来の方向

- ◆視点 1 若い世代の流出抑制と流入促進
- ◆視点 2 若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望の実現
- ◆視点 3 地域課題の解決と本市の特徴を活かした地域活性化

目標：2060 年（平成 72 年）の人口規模 57,000 人

基本目標・数値目標

基本目標 1

産業を振興し、安定した雇用を創る

「地域産業振興戦略」

■雇用創出数

114 人 (H26) → 500 人 (H27～H31)

基本目標 2

地域の魅力を高め、ひとの流れと賑わいを創る

「魅力アップ・賑わい創造戦略」

■転入者数

2,357 人 (H26) → 2,500 人 (H31)

■観光入込客数

1,466,452 人 (H26) → 1,900,000 人 (H31)

基本目標 3

若い世代が希望する結婚・出産・子育ての環境を創る

「子ども安心育成戦略」

■合計特殊出生率

1.16 (H26) → 1.26 (H31)

基本目標 4

時代に合った活力ある安心な地域を創る

「地域活力創造戦略」

■本市に住みたいと考える市民の割合

75.4% (H26) → 80.0% (H31)

主な具体的施策

(1) 企業誘致の推進と雇用の創出

企業立地奨励金、雇用促進奨励金、若小玉地区産業団地の整備促進

(2) 地元企業の育成支援

エコノミックガーデニング事業、事業拡大設備投資事業補助金、求人合同説明会・ビジネス交流会等の出展事業補助金、「足袋のまち行田」活性化プロジェクト

(3) 起業・創業の支援強化

創業支援ワンストップ相談窓口の設置、起業家支援助成事業、創業、第二創業、事業承継の支援

(4) 農業の担い手確保と成長支援

農地中間管理事業、6次産業化の促進、農業生産法人の育成支援

(1) 地域資源を活かした観光戦略の推進

日本遺産を活用した観光施策の推進、インバウンド観光の推進、田んぼアート米づくり体験事業・わらアート制作事業

(2) 拠点エリア整備による賑わいの創出

JR行田駅前広場周辺再整備事業、行田らしいまち並みづくりと賑わい創出事業、産業交流拠点の整備

(3) 移住・定住及びU・J・Iターンの促進

子育て世帯定住促進事業、住まいる行田プロジェクトの推進、創業等の支援によるU・J・Iターンの促進

(4) 行田の魅力発信

SNSや動画を活用した戦略的な情報発信、シティプロモーションの推進、ふるさと納税制度を活用した特産品のPR

(1) 結婚・妊娠・出産・育児のライフステージに応じた支援

出会いや結婚に対する支援、不妊治療費助成事業、子育て包括支援センター事業（赤ちゃんコンシェルジュ）

(2) 子育てと就労の両立支援

保育所延長保育事業、認定こども園の創設支援、女性の活躍推進セミナーの開催

(3) 多子世帯の負担軽減

3歳未満の第3子以降の保育料の無償化、第3子以降の市立小・中学校給食費の無償化、浮き城のまち・子育てジョイ・ハッピー事業

(4) 行田の未来を担う人材育成

少人数学級編制事業、小学校英語活動、寺子屋事業

(1) 時代に合った地域マネジメントの推進

地域公共交通ネットワークの充実、公共施設等総合管理計画の策定（公共施設マネジメントの推進）、立地適正化計画の策定（持続可能な都市づくりの推進）

(2) 地域コミュニティの連携強化

いきいき元気サポート制度の充実、自主防災組織の設立、自主防災組織リーダーの育成、市民主体の地域づくり活動に対する支援

(3) 健康長寿づくりの推進

薬局を拠点とした健康づくり事業、健幸増進モデル地区事業、各種疾病の早期発見・予防の推進

(4) 地域間連携の推進

広域観光の連携強化、ごみ処理の広域化の推進

主な重要業績評価指標(KPI)

○新規企業立地件数

6 件 (H26) → 15 件 (H27～H31)

○新・増設企業雇用者数

86 人 (H26) → 300 人 (H27～H31)

○起業・創業等支援件数

11 件 (H26) → 65 件 (H27～H31)

○農地中間管理事業取組面積

(H26 取組実績無) → 220ha (H31)

○攻めの農業支援事業取組数

(H26 取組実績無) → 8 件 (H31)

○観光入込客数（主要観光施設）

186,721 人 (H26) → 300,000 人 (H31)

○外国人観光入込客数

(H26 取組実績無) → 30,000 人 (H31)

○観光案内所利用者数

30,347 人 (H26) → 70,000 人 (H31)

○子育て世帯定住促進事業による定住者

369 人 (H26) → 700 人 (H31)

○Facebook「いいね」数

95 件 (H26) → 6,000 件 (H31)

○ふるさと納税寄附額

(H26 取組実績無) → 50,000,000 円 (H31)

○婚活イベント等参加者数

115 人 (H26) → 600 人 (H27～H31)

○妊娠届出件数

550 件 (H26) → 580 件 (H31)

○女性就業率

46.7% (H22) → 56.0% (H32)

○保育所・認定こども園・地域型保育の保育定員数

1,160 人 (H26) → 1,250 人 (H31)

○全国・県学力学習状況調査結果

全国・県平均値以上 (H31)

○循環バス利用者数

231,021 人 (H26) → 260,000 人 (H31)

○いきいき元気サポーター数

225 人 (H26) → 300 人 (H31)

○自主防災組織の組織率

86.0% (H26) → 100.0% (H31)

○健康教室等参加者数

5,456 人 (H26) → 6,000 人 (H31)

○健康診査受診者数

13,448 人 (H26) → 16,000 人 (H31)

○地域間連携施策取組数

1 件 (H26) → 4 件 (H31)

推進体制

- ・施策の計画的かつ効果的な実施に組織横断的に取り組むとともに、市民、行政、及び関係団体等が、互いに連携協働して施策を推進する
- ・基本目標における数値目標、重要業績評価指標（KPI）の達成度について、「行田市まち・ひと・しごと創生有識者会議」で毎年度検証を行い、PDCAサイクルによる施策の推進を図る